

				令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	備考	
利用者支援	基本型	量の見込(か所)								
		提供体制(か所)								
	特定型	量の見込(か所)								
		提供体制(か所)								
	こども家庭センター型	量の見込(か所)		1	1	—	—	—	現在整備の方向性について検討中です	
		提供体制(か所)		1	1	—	—	—		
地域子育て相談機関		量の見込(か所)		4	4	4	4	4		
		提供体制(か所)		4	4	4	4	4		
延長保育事業		量の見込(人)		2,257	2,257	2,257	2,257	2,257		
		提供体制(人)		2,257	2,257	2,257	2,257	2,257		
放課後児童クラブ		量の見込(人)							小学校区別に、現在利用ニーズを再集計中です	
			1年生							
			2年生							
			3年生							
			4年生							
			5年生							
		6年生								
		提供体制(人)								
子育て短期支援事業(ショートステイ)※		量の見込(人日)								
		提供体制(人日)		96	96	96	96	96		
地域子育て支援拠点事業		量の見込(人回)		50,401	49,716	—	—	—	現在整備の方向性について検討中です	
		提供体制(か所)		5	5	—	—	—		
一時預かり(幼稚園型)		量の見込(人日)	①1号認定 ②2号認定	52,032	49,015	48,113	47,030	47,855	1号認定及び教育ニーズの強い2号認定の算定において、誤りが判明したため現在再判定を行っています	
		提供体制(人日)		64,080	64,080	64,080	64,080	64,080		
一時預かり(幼稚園型を除く)		量の見込(人日)		14,111	14,101	14,252	14,342	14,472		
		提供体制(人日)	①一時預かり事業	23,822	23,822	23,822	23,822	23,822		
			②ファミサポ(病児対応除く)							
			③子育て短期支援(トワイライト)	96	96	96	96	96		
病児保育		量の見込(人日)		145	143	144	144	144		
		提供体制(人日)	①病児保育事業 注2	1,680	1,680	1,680	1,680	1,680		
			①-1 病児対応型	1,680	1,680	1,680	1,680	1,680		
			①-2 病後児対応型							
			①-3 体調不良児型							
			①-4 非施設型(訪問型)							
			②ファミサポ(病児対応型)	61	60	61	61	61		
ファミリーサポートセンター(就学児)		量の見込(人日)		1,447	1,416	1,368	1,334	1,273		
		提供体制(人日)		1,447	1,416	1,368	1,334	1,273		
乳児家庭全戸訪問事業		量の見込(人)		656	684	689	694	667		
		提供体制		656	684	689	694	667		
養育支援訪問事業 その他要支援児童の支援に資する事業	養育支援訪問	量の見込(人)								
		提供体制								
	要保護児童	量の見込(人)								
		提供体制								
妊婦健診		量の見込(人)		656	684	689	694	667		
		提供体制		656	684	689	694	667		
子育て世帯訪問支援事業		量の見込(人日)								
		提供体制								
児童育成支援拠点事業		量の見込(人)		3,750	3,750	3,750	3,750	3,750		
		提供体制		3750	3750	3750	3750	3750		
親子関係形成支援事業		量の見込(人)		—	—	—	—	—	現在整備の方向性について検討中です	
		提供体制		—	—	—	—	—		
子ども誰でも通園制度		量の見込(人)		—	令和8年度以降給付事項に移行					現在整備の方向性について検討中です
		提供体制		—						

※ショートステイ事業は、保護者の疾病等により児童の養育が家庭でできない場合に、施設等に等において短期児童をお預かりする事業です。従来市においては和光版ネウボラ事業のうちの、産後ケア事業として、産後間もない乳児を対象としたショートステイ事業を類似の事業として、計画に記載をしていました。今回記載をしたショートステイ事業は、里親等の地域人材を活用した社会的擁護を必要とする児童の預かり事業となり、従来の事業とは異なりますが、産後ケア型のショートステイ事業についても、和光版ネウボラの事業の一つとして別途継続をしてまいります。